

シンポジウム： ピケティ「21世紀の資本」とグローバル・タックス ～行き詰まる資本主義、日本の格差・貧困、国際課税への提言～

2015年11月7日(土) 13:00～16:30
青山学院大学・9号館 931 教室

《プログラム》

◎総合司会：加藤永莉香（横浜市立大学）

・主催者挨拶：

金子文夫（グローバル連帯税フォーラム代表理事／横浜市立大学名誉教授）（5分）13:00－13:05

<第1部 基調講演&民間税調版税制大綱最終答申の概要報告>

・基調講演：橘木俊詔（京都女子大学客員教授／京都大学名誉教授）（50分）13:05～13:55
テーマ：『21世紀の資本』と世界的な資産税の可能性～日本の貧困・格差問題を踏まえて～

・民間税制調査会：「民間税制調査会版税制大綱最終答申」の概要紹介
三木義一（民間税調共同代表、青山学院大学教授）（20分）13:55～14:15

・休憩（10分）14:15－14:25

<第2部 パネル・ディスカッション>（120分）14:25～16:25

・モデレーター：三木義一（青山学院大学教授）

・パネリスト：水野和夫（日本大学教授）：テーマ「超バブル経済と資本主義の終焉」（20分）

志賀櫻（弁護士）：テーマ「タックスヘイブン対策なくしてグローバル課税なし」（20分）

上村雄彦（横浜市立大学教授）：テーマ「グローバル連帯税と21世紀の資本」（20分）

小西雅子（WWF 気候変動・エネルギー・プロジェクト・リーダー）：

テーマ「気候変動問題から考えるグローバル・タックスの可能性」（20分）

橘木俊詔（京都女子大学客員教授／京都大学名誉教授）

・討論（含む、会場からの質疑）（40分）15:45～16:25

・閉会のあいさつと今後について

田中徹二（グローバル連帯税フォーラム代表理事）（5分）16:25－16:30

◎共催・協賛

・共催：グローバル連帯税フォーラム
民間税制調査会

・協賛：(特活) 日本リザルツ

【スピーカー紹介】

◎金子 文夫（グローバル連帯税フォーラム代表理事／横浜市立大学名誉教授）



1948 年生まれ。東京大学博士（経済学）。1978 年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学、1981 年～2014 年横浜市立大学教員、2014 年定年退職。著書は「近代日本における対満州投資の研究」（近藤出版社、1991 年＝第 34 回日経・経済図書文化賞受賞）、「高度成長展開期の日本経済」（共著、日本経済評論社、2012 年）、「グローバル・タックスの構想と射程」（共著、法律文化社、2015 年）など。グローバル連帯税フォーラム代表理事。

◎橋本 俊詔（京都女子大学客員教授／京都大学名誉教授）



1943 年、兵庫県生まれ。専門は労働経済学、公共経済学。京都大学経済学博士（1998 年）。小樽商科大学商学部卒業、大阪大学大学院、ジョンズ・ホプキンス大学大学院修了（Ph.D.取得）。京都大学経済研究所教授、日本経済学会会長、同志社大学経済学部教授を経て現在、京都女子大学客員教授、京都大学名誉教授。著書：『日本の経済格差』（岩波新書）、『家計からみる日本経済』（岩波新書）、『格差社会』（岩波新書）、『学歴入門』（河出書房新社）、『「幸せ」の経済学』（岩波現代全書）など。

◎三木 義一（青山学院大学法学部教授）



1950 年東京都生まれ。1975 年一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。現在、青山学院大学法学部教授・法学部長（博士・一橋大学）、弁護士、民間税制調査会メンバー。専攻は税法。

著書、『日本の税金 新版』（岩波新書）、『よくわかる税法入門（第 9 版）』『よくわかる法人税法入門（第 2 版）』『よくわかる国際税務入門（第 3 版）』『実務家のための税務相談』（以上ともに有斐閣）、『税ってなに？』（監修。かもがわ出版）ほか。

◎水野 和夫（日本大学国際関係学部教授）



1953 年、愛知県生まれ。日本大学国際関係学部教授。早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券チーフエコノミストを経て、内閣府大臣官房審議官（経済財政分析担当）、内閣官房内閣審議官（国家戦略室）を歴任。主な著作に『人々はなぜグローバル経済の本質を見誤るのか』（日本経済新聞出版社）、『資本主義の終焉と歴史の危機』（集英社新書）。共著に『超マクロ展望 世界経済の真実』（萱野稔人氏との共著・集英社新書）など。

◎志賀 櫻（日本大学国際関係学部教授）



1949 年東京都生まれ。弁護士。1970 年司法試験合格、1971 年東京大学法学部卒業、大蔵省入省。熊本国税局宮崎税務署長、在連合王国日本国大使館参事官、主税局国際租税課長兼 OECD 租税委員会日本国メンバー、主計局主計官をへて、1993 年警察庁へ出向、岐阜県警察本部長、1998 年金融監督庁国際担当参事官兼 FSF 日本国メンバー、特定金融情報管理官兼 FATF 日本国メンバー、2000 年東京税関長、2002 年財務省退官、2010～12 年政府税制調査会納税環境整備小委員会特別委員。

著書、『タックス・ハイブン』（岩波新書）、『日銀発金融危機』（朝日新聞出版）、『タックス・オブザバー』（NP 新書）ほか。

◎土村 雄彦（横浜

1965 年大阪生まれ。'92 年重慶大学文学部国際関係論専攻卒。'92 年大阪大学大学院法学研究科修士課程修了。'93 年加カルトン大学大学院国際関係研究科修士課程修了。'93 年カナダ国際教育局。カナダ日本関係担当官。'94 年国連食糧農業機関（FAO）住民参加・環境担当官。'06 年千葉大学地球福祉研究センター助教授。'07 年同准教授。'09 年横浜市



◎小西 雅子 (WWF ジャパン 自然保護室室次長 兼 気候変動・エネルギー プロジェクトリーダー)



日本気象予報士会副会長
神戸大学卒。ハーバード大学院修士課程修了・環境公共政策学修士
中部日本放送アナウンサーを経て、1997年気象予報士取得、民間気象
会社で天気予報及び世界の異常気象に関する環境番組をプロデュース。
2002年国際気象フェスティバル「ベスト気象キャスター賞」受賞。
世界的な異常気象の増加から危機感を持ち、2005年9月から現職。国
連気候変動枠組条約会合参加など国際交渉と、国内のエネルギー&気
候変動政策提言に従事。主な著書に「地球温暖化の目撃者」編著（毎
日新聞社 2011）「地球温暖化の最前線」著（岩波ジュニア新書 2009）
など。東京都環境審議会委員、気象業務支援センター評議員など公職
々々

◎田中 徹二 (グローバル連帯税フォーラム代表理事)



1947年北海道生まれ。北海道教育大学札幌分校中退。2008年4月江
戸川区役所退職。1994年～2001年市民フォーラム 2001 運営委員、
2002年～2003年 ATTAC 首都圏事務局長、2004年～現在オルタモン
ド事務局長、2011年～現在国際連帯税フォーラム代表理事。

◎総合司会：加藤永莉香 (横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系グローバル協力
コース4年)



2014年3月にニューヨーク国連本部にて海外調査実習に参加し地球
温暖化について研究。同年8月にワシントン DC にあるアメリカン
大学へ留学し、人種差別とジェンダーについて学ぶ。卒業後の夢は
報道記者として人の幸福に貢献すること。